

とやまワイズメンズクラブ 2022年1月号ブリテン

主 題 2021-2022 年度：国際・アジア太平洋地域区・部

クラブ会長主題「リボーンとやま、あらたな第一歩」 会長 清水 淳

- ・ 国際会長主題 “Y's Men with the World” (世界とともにワイズメン) 国際会長 Kim Sang-che (韓国)
スローガン “Heal the World with Love & Dignity”(愛と尊厳で世界を癒やそう)
- ・ アジア地域会長主題 “Make a difference beyond the 100th” (100 年を越えて変革しよう)
スローガン “Be healthy!” (健康第一！) アジア地域会長 大野 勉 (神戸ポート)
- ・ 西日本区理事主題 “Challenges for the future” (未来への挑戦)
スローガン 「羽ばたこう！2022 年ワイズ 100 周年に向かって！」 西日本区理事 新山兼司 (京都トップス)
- ・ 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」 部長 渡辺真悟 (名古屋)

日 時：2022 年 1 月 10 日 (月) 17:00~20:00

会場：ホテル古志

例会プログラム

- 17 時 00 分 例会開始 司会：島田 茂
 開会式 1) 開会点鐘 2) ワイズソング 3) 聖書朗読
 4) 祈祷 5) 清水会長挨拶

会費：プレミアム宿泊券 5 千円 (1 万円分)
 経費：1 人 11,000 円 (税込) 宴会・宿泊込
 * 千円をとやまワイズで補助

- 17 時 15 分 卓話：「若者たちは今～とやまチャイルドラインの歩み (予告編)」
 ゲストスピーカー：布村武信氏 (とやまチャイルドライン愛ランド代表理事)

17 時 45 分 開場新年会会場に移動

- 18 時 新年会：報告・新年の抱負 (以下夕食時)
 1) ワイズ活動報告と今後の予定
 * 阪和部会 9 月 17 日川渕さん講演 (川渕さんの父阪和病院)
 2) 今後の内容：2 月 14 日 (月) 18 時 堤町センター
 テーマ：「白雪牧場開設の思いと計画」 ゲストスピーカー：坂口創作さん
 3) YMCA 報告 4) ハッピーバースデー 5) ニコニコ BOX 近況 & 新年の抱負
 20 時 閉会点鐘・閉会

【12 月第 1 例会出席報告】卓話：「クリスマス、あなたの心にプレゼント」スピーカー：関丙俊氏

日 時：2021 年 12 月 13 日 (月) 18:00~20:00 富山 YMCA 堤町センター (敬称略)

出 席：清水淳会長、青島明生、池田通則、川渕映子、小泉宗政、菅原美穂子、中島完一、橋本順子、水野 績
 島田 茂 以上 10 名

ゲスト：関丙俊、村上 隆、竹中成行 以上 3 名 * 竹中さんは、1 月から入会
 欠 席：青山 仁、内山政子、城石芳人、舟崎優満、松浦正樹、中川喬之 6 名

- * YMCA 報告 ① 12 月 12 日 (日) チャリティクリスマス二番町教会で 97 人の会員とリーダーで 100 名を超えた。
 ② 冬期プログラムの募集が始まった。

聖書 ヨハネによる福音書 3章 16～21節

16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。17 神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。18 御子を信じる者は裁かれない。信じない者は既に裁かれている。神の独り子の名を信じていないからである。19 光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、光よりも闇の方を好んだ。それが、もう裁きになっている。20 悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが明るみに出されるのを恐れて、光の方に来ないからである。21 しかし、真理を行う者は光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたということが、明らかになるために。」

卓話：「クリスマス、あなたの心にプレゼント」スピーカー：関丙俊氏

韓国済州島マラ島の出身。人口80人。日本に来て27年間、富山に来て15年間。昨年父が、今年11月に母が昇天される。両親は北朝鮮からの避難民。ヨンチョンに住んでいたが、父親の事業が破綻して、夜逃げのようにヨンチョンを出て流浪する。毎日学校で喧嘩ばかりしていた。すぐパンチを与えた。中学3年の荒れていた時に友人からの導きで教会に行くようになった。もともと母親はクリスチャンだったので、母体信仰を受けていたが、ヨンチョンを出てからは教会に行かなくなった。

光州事件の学生時代にカール・マルクスの影響を受け、独裁政権を倒すために火炎瓶を投げたり、2度ほどデモ隊に倒され、一瞬死ぬ危険にあった。一人の人が気づいて助けてくれた。一度は投石が飛んできたが目の前に電柱があり助かった。この一瞬にこの場を離れるべきだという声を心に聞いた。そこで山に逃れて1週間祈りながら昔通っていた教会のことを思い出し、その際に十字架につけられたイエスが現れ、「今大切なのは、暴力ではなく愛だという声を聴くことができた。」その夜、一晩中泣きながら祈り、心が変わった。イエス様の十字架に出会った朝は、景色や風の音が全く変わった。

讃美歌♪ 尊い十字架にすぎる♪ もともと歌うことが評価されていた。歌手になろうかとも考えていた。大学を卒業して将来をどう生きようかと悩んでいた時に、キルケゴールの「神の前に単独者」という言葉に影響を受けた。もう一人はボンヘッファーで「イエスについていきなさい」という言葉に心が打たれた。兄が日本文学の博士課程にいたので、日本に来てはどうかというアドバイスがあり、聖書のみ言葉詩編37篇「あなたの道を神様に委ねよ」というみ言葉が与えられ、その時にビザが下りた。

川崎の日本語学校に通った。日本の神学校に行くことを勧められルーテル教会の東京神学大学に通うことを決断した。人生の中で神様の導きに従って歩んだ。ギターを欲しいと思って、祈ったときに粗大ごみにギターケースが落ちていてギターが与えられた。

すべては神様が必要なことをご存じで、願い祈ったことがかなえられる。母の願いは、息子が賛美する人になることを祈ってくれた。

一人の素晴らしい人に出会うことは、何よりも価値のあることである。最高に価値のある人と交わることができるのは、お金でも権力でもない。貧しく謙遜で飢え乾く心があればあってくれる。「あなたに会いたい。あなたと愛し合いたい。」と私たちに声をかけてくれているのがイエス様。その方はあなたを愛するために。あなたに愛してもらいたいためにこの方は来られた。

母に会いに韓国に行き、最後との時を共に過ごされた。戻ってきてから兄から電話で母がもう最期の時となることを伝えてくれ、最後に母にビデオで語ることができた。最後にお母様に「ママ、愛しているよ!」と伝えることができた。その時にお母様は手を振ってくれた。

如何に罪深い人であってつも神の愛の対象にならない人はいない。神は、ご自分の似姿として人を作ってくれた。私たちは、価値のある人である。

